

西宮市上大市～箕面市瀬川

●歩行距離／12.1km ●標準歩行時間／3時間01分 ※1時間4kmで計算しています

西宮市から伊丹市へ。この付近には、さまざまな歴史遺産が点在しています。案内板が設置されているところも多いので、そのいわれを知らながら歩いてみるのもおすすめです。歴史を知ると、同じ道でもまた違って見えてくるものです。池田市に入って、さらに北東方向に進みます。



浄源氏



浄土真宗本願寺派の寺。蓮如上人が有馬に向かう途中、この地で説法を行い、そこが後に寺になったと伝えられています。境内には、イチョウを母木として桐とムクの木が寄生している木があり、市の天然記念物にも指定されています。一里塚的な存在であったと言われています。

昆陽寺 こやでら



僧・行基が建立した畿内四十九院の一つである「昆陽施院」に系譜をひく寺。戦国期に織田信長の兵火によって焼失し、その後再建されました。朱塗りが鮮やかな山門と境内の観音堂は、昭和44年(1969)に県の文化財に指定。境内には、四国霊場88カ所のミニコースもあります。

墨染寺 ぼくぜんじ



天正年間に創建された曹洞宗の寺。伊丹ゆかりの俳人で、「東の芭蕉、西の鬼貫」と並び称された上島鬼貫父子の墓や「秋は物の月夜鳥はいつも鳴」などの句碑、また有岡城落城の際に処刑された婦女子の供養のために建てたといわれる女郎塚などがあります。

正光寺



「中納言石」「夜泣き石」といわれる石がある寺。江戸時代に麻田藩の藩主がこの石を陣屋に持ち帰ったところ、毎晩「帰りたい」と泣いたため、正光寺の近くの辻に持ち帰らせました。その後、毎年2月23日に中納言祭が行われ、人々が石の周囲で念仏を唱えたといえます。